

平成 29 年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

平成 29 年度は、京都鉄道博物館が 2 年目に入り、リピーターの確保と新規来館者の獲得のため、おもてなしのレベルアップを行うとともに、グランドオープン 1 周年記念イベント、夏休みイベントやナゾトキイベントなどを実施した。また、学校向け教育プログラムを本格実施するとともに、春と秋に企画展を開催し、併せて専門家による講演会も開催するなど、社会教育施設としての活動を深めた。その結果、平成 29 年度の有料入館者数は 1,021 千人となった。

事務局においては、交通資料調査センターを設置し、資料についての収集、保存、調査、研究業務を継続的に行うとともに、クラウドファンディングの手法を用いてデジタルアーカイブの構築を実施し、資料の散逸防止と後世への継承に努めた。また、新たに開設した SNS や、既存の事務局ブログを活用し、情報発信や寄附金懇話活動を実施した。

I 博物館運営等を通じた交通文化の振興

1 京都鉄道博物館

(1) 常設展示

ア 新規展示

- ①本館 2 階「鉄道と文化」に二代目京都駅シャンデリアを展示（7/13）
- ②本館 2 階「鉄道ジオラマ」で 281 系（2/4）、500 系 TYPE EVA（3/17）走行
- ③本館 1 階「施設（踏切）」に特殊信号発光器Ⅱ形設置（3/20）

イ 展示品整備

マルス体験装置の稼働、鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、運転シミュレーターのメンテナンス、スロネフ 25 形等実物車両の車内清掃、「鉄道車輛の種類」ピース更新、北港第二運河橋梁修繕、軌道自転車修繕、体験装置類のメンテナンス 等

ウ 施設、設備工事

- ①消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応
- ②館内案内サインの修正・追加
- ③本館南西側道路部 雨水排水設備工事（3/12）
- ④扇形車庫 11・12 番線床面工事等（3/15）

(2) 企画展、資料展

ア 企画展等

- ① 京都駅開業 140 年記念企画展「洛中洛外鉄道絵巻～京の都の鉄道史～」（4/28～7/11）
時代とともに姿を変えてきた京都駅の変遷や、京都市内の鉄道の歴史などを絵巻風のパネルで紹介し、駅名標や灯具などの駅の設備品、時刻表や鳥観図などを展示した。また、時代ごとの車両の紹介とともにヘッドマークや模型を展示した。

② 企画展「鉄道遺産をたずねて～遙かなる時を越えてきた生き証人～」(10/14～1/28)

日本における鉄道は、それぞれの時代の最新技術の積み重ねにより発展してきた。その技術の歴史や痕跡をもつ施設や車両、器具道具などを「鉄道遺産」とし、JR西日本管内を中心に位置もわかるようにパネルで紹介した。また、実際の構造物の一部やレリーフ、模型や図面、写真なども併せて展示、専門家による記念講演会も開催した。

イ 資料展等

① 「新規収蔵資料展」(4/2～6/30)

② 「収蔵資料で見るJR～JRは30周年を迎えました～」(7/8～9/24)

③ 「駅弁の掛紙いろいろ～時代を語り継ぐ駅弁の演出家～」(9/30～1/8)

④ 「鉄道のりもの双六」(1/20～4/1)

ウ 部外協力展

①フジフィルム「50,000人の写真展」(10/28～11/5)

(3) イベント等

ア 「鉄道ワンダートリックアート展」(2/19～4/16) ※平成28年度からの継続

特別展示イベントとして、人の目の錯覚を利用した“トリックアート”を活用し、本物そっくりに見える京都駅やSL検修作業などをテーマにした作品を展示した。

イ グランドオープン1周年記念イベント(4/29～5/14)

ウ 夏休みイベント「夏のワンダートラベラー」(7/15～8/31)

当館を舞台にした架空絵本とキャッチコピー「絵本の世界を旅しよう！」に合わせて、館内各所に絵本のシーンを再現した大型パネルを設置し、絵本作品への没入感を演出。館内の回遊性を高め、展示や施設を知ってもらうことを目的にスタンプラリーを実施したほか、絵本の読み聞かせや夏のファミリーコンサート等の親子で楽しめるイベントを行った。

エ 秋のイベント「SLラボ 動かせSL蒸気のチカラ」(9/16～11/26)

蒸気機関車の動く仕組みや秘密を紹介するパネルや迷路で構成した「学びラボ」と、実物車両の運転台に設置した「D51 バーチャル投炭体験」等の体験型イベントを開催した。

オ 京都鉄道ミステリー(9/28～5/6)

館内に隠された謎を解きながら館内をめぐるナゾトキイベントを、京都駅ビル及びリアル脱出ゲームなどを企画するSCRAPと共同開催。

カ 冬のイベント「冬の撮れとれトレインフェスタ」(12/7～1/30)

館内で写真を撮って楽しむことを目的に、各所に設置した「撮れとれカレンダー！」や干支にちなんだ「戌年！ブルドッグ年賀状撮影会」などを実施した。また、ジオラマ内に電飾を施し特別プログラムを行ったほか、ワークショップとして連動して、参加者が作成した「ゆきだるま」をジオラマ内に展示。そのほか、ジオラマの中を紹介するツアーの開催も併せて実施した。

キ 春イベント「京鉄博アニメコラボ～3つのアニメ大集合～」(2/9～5/7)

京都鉄道博物館と関連のあるアニメとコラボした春イベントを実施。5月に運行を終了した500系TYPE EVAの紹介を企画展示室で行うとともに、館内実物車両をTYPE EVA仕様にラッピングした。また、キッズパーク横で「きかんしゃトーマス」のプラレール展示と館内スタンプラリーを実施、そのほか「新幹線変形ロボ シンカリオン」の記念撮影会などを開催した。

- ク 京都鉄道博物館入館者 200 万人達成記念セレモニー (10/9)
有料入館者数 200 万人達成を記念したセレモニーを行った。
- ケ 「京の七夕」に協力 (8/5～6、11～13)
梅小路公園エリアほかで開催される「京の七夕」イベントに協力し、夜間の延長開館を行うとともに、扇形車庫でコンサート (8/11～13「SL NIGHT LIVE in 大瀬戸千嶋」) を実施した。
- コ 「下京サマーフェスタ」に協力 (8/26)
地域連携活動として、旧二条駅舎前にスーパーボールすくい等を出店した。
- サ 「梅小路 キッズアートキャンパス」に協力 (11/3)
地域連携活動として、下京区安寧小学校跡地で「ミニ S L の運転体験」を行った。
- シ 「サイエンスフェスタ」に協力 (2/4)
京都市青少年科学センターにて科学の振興を目的に、ミニジオラマ体験会を実施した。
- ス 「鉄道パラダイス Vol. 2」に協力 (4/29)
京都駅ビルにて当館の P R を目的に、ジオラマ体験会の実施とウメテツ登壇を行った。
- セ 「冬の光宴」に協力 (2/3、10、11)
梅小路公園エリアほかで開催される冬の光宴に協力し、夜間の延長開館を行った。
- ソ 地域への貢献として京都市下京区民を対象とした入館料割引の実施 (2/1～2/28)
- タ 各種ワークショップ等の実施
車両解説セミナー：「蒸気機関車」(4/15～16)、「0 系新幹線」(2/17～18)
展示品解説セミナー：「硬券印刷」(6/17～18、11/18～19)、「通票閉塞器」(9/23～24、3/24・25)
工作教室：「京都鉄道博物館オリジナルストラップづくり」(5/13～14、7/1～2)、「プレート
の拓本を取ろう！」(8/19～20)、「ゆきだるまづくり」(12/16～17、1/4～5)
その他：講演会「J R 西日本の鉄道遺産と文化財」(10/15)、「鉄道映画を見る」(1/20～21)

(4) 定例行事・活動

- ア 鉄道ジオラマの運転 : 2,168 回
- イ S L スチーム号の運転 : 運転回数 3,982 回、乗車人員 343,743 人 (約 86 人/回)
- ウ ミニ S L ・ミニ 500 系運転会 : 運転日数 14 日

(5) 広告・宣伝・誘致活動

項 目	数 量
ア ポスターの掲出	
(ア) J R 駅貼り	(6 回) 4,672 枚
(イ) 近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(7 回) 1,074 枚
イ 催し物案内チラシの配布	
(ア) 近畿圏の J R 駅	(7 回) 284,295 枚
(イ) 近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(7 回) 120,630 枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 (関係記者クラブ、出版関係各社等)	毎月合計約 70 箇所へ配布 29 回

エ 誘致活動	
(7) ホームページアクセス件数 (2017. 4. 1～2018. 3. 31)	2, 297, 001 件 (1 日平均 6, 293 件)
(イ) フェイスブック投稿件数	240 件(1 ヶ月平均 20 件)
(ウ) マスコミ取材対応	71 件
(エ) LINE@による情報配信 (2017. 12. 1～)	
・お友達登録数	34, 123 人
・情報配信 (クーポン配信含む)	10 回

(6) 教育普及活動

ア 教育普及活動の実施

- ・京都市内小学校向け学習プログラムとして教科単元に合わせた観察と実験を実施：3回3校
- ・職場体験学習：京都市立梅津中学3年生 他4校計12名（5/25～26、6/1、11/6～10、11/16～17）
- ・小学校課外授業：京都府立盲学校2～6年生（10/31）、亀岡市立西別院小学校全学年（10/24）、
- ・小学校出前事業：城陽市立深谷小学校1～2年生（12/18）
- ・博物館実習や大学等の研修の受入れ：国立台北芸術大学院大学大学院生他 4校 計39名

イ 館内視察等への対応

- ・埼玉県議会（6/5）
- ・十都市交通事業管理者会議（7/28）
- ・新潟市（9/3）
- ・地下鉄博物館（9/26）
- ・京都技術士会（10/21）
- ・北九州市（1/30）
- ・福知山市（2/2）

(7) 博物館関係コミュニケーション活動等

- ア 全国科学博物館協議会「平成29年度第1回総会」出席（7/13 於：（東京都）国立科学博物館）
- イ 日本博物館協会「平成29年度全国博物館大会」出席（11/29～12/1 於：（大分県）iichiko 総合文化センター）
- ウ 全国科学博物館協議会「平成29年度第2回総会」出席（2/15～16 於：福岡市科学館）
- エ 第20回京都市内博物館施設連絡協議会「京都ミュージアムロード」参加（1/24～3/21）
- オ 京都科屋台ネットワークスタンプラリー（10/28～3/31）

(8) 入館者数の状況（入館者数の詳細は「別表1」のとおり。）

（単位：千人）

項目	京都鉄道博物館
平成29年度	1, 021

2 事務局における文化遺産調査及び交通資料の収集・保存に関する事項

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局にて活動を続けてきたが、平成 29 年度より事務局内に交通資料調査センターを開設し、引き続き、交通に関わる文化遺産の調査及び交通資料の収集、保存を行った。

(1) 交通関係歴史資料の収集・保存

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行った。また、写真資料を中心に収蔵資料のデジタル化作業を実施した。

- ・図書・資料の購入 2207 点
- ・受贈 13 件 11,270 点
- ・資料・図書の整理・登録 4,120 点
- ・資料のデジタル化 14,130 点

(2) 事務所移転と資料移設

事務局事務所移転に合わせて、外部の倉庫より資料を事務所に移設し、これまで未整理であった資料について整理作業を開始。図書については利活用を図るため書棚を整備し順次配架を行った。

(3) デジタルアーカイブの開設

当財団の所蔵資料を web にて公開する、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」を開設した。

開設日 平成 30 年 3 月 31 日 (公開日 4 月 2 日)

開設時掲載点数 3,058 点

(4) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。調査事物：40 件

(5) その他

- ・財団ホームページの「事務局ブログ」及び、facebook、twitter を活用し、調査・資料収集の様子、収蔵資料に関する情報発信を行った。(371 回)
- ・所蔵する図書の閲覧に対応するため、事務局内に閲覧スペースを設置。
- ・尼崎市中央公民館の市民講座に出講し、交通系文化遺産の保存と活用について講義を実施。
- ・外部有識者(大学教員)に交通資料調査センター特別調査員を委嘱し、活動における公益性の担保及び内容の充実を図るとともに、共同調査等を通じてセンター所属員の調査スキル向上に努めた。
- ・日本鉄道保存協会総会・見学会に参加し、各地の保存団体との交流・情報交換を進めた。

II 財団運営に関する事項

1 本年度の役員等の異動

(1) 評議員

《退任》 石川明彦 以上 平成 29 年 6 月 21 日付
《新任》 松木 茂 以上 平成 29 年 6 月 21 日付

(2) 理 事

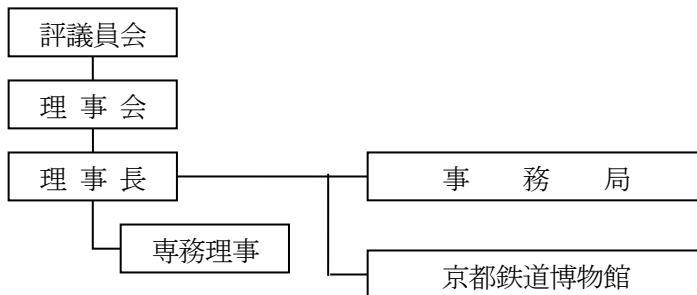
《退任》 廣川昌哉 以上 平成 29 年 6 月 21 日付
《新任》 奥田 仁 以上 平成 29 年 6 月 21 日付

平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員、理事、監事、顧問は、[別表 2]のとおりである。

2 財団組織

(1) 組 織

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



(2) 構成員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

事業所名	職 員	嘱 託	計
事 務 局	3	—	3
京 都 鉄 道 博 物 館	22	—	22

- ・ 役員を除く。
- ・ 京都鉄道博物館の職員のうち 6 名は J R 西日本からの出向者。
- ・ 京都鉄道博物館の職員のうち 4 名は事務局兼務。
- ・ 上記以外に臨時雇用員を事務局にて 3 名、京都鉄道博物館にて 1 名雇用している。

(3) 会 議

ア 評議員会

第 13 回評議員会 (定時評議員会)

(ア) 日 時 平成 29 年 6 月 21 日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第1号議案 平成28年度決算の件
- 第2号議案 評議員1名選任の件
- 第3号議案 理事7名選任の件
- 第4号議案 監事2名選任の件
- 第5号議案 常勤理事の報酬額の決定の件

② 報告事項

- 報告1 平成28年度事業報告の件

イ 理事会

第25回理事会

- (7) 日 時 平成29年5月31日
- (4) 場 所 ホテルグランヴィア大阪
- (ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第1号議案 平成28年度事業報告の件
- 第2号議案 平成28年度決算の件
- 第3号議案 第13回評議員会（定時評議員会）の招集の件
- 第4号議案 クラウドファンディング実施の件
- 第5号議案 顧問選任の件
- 第6号議案 主たる事務所移転の件
- 第7号議案 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の承認の件

② 報告事項

- 報告1 職務執行状況報告の件
- 報告2 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件
- 報告3 資金運用報告の件

第26回理事会（みなし決議）

- (7) 提案者 理事 三浦英之
- (4) 提案の内容
 - 第1号議案 代表理事理事長及び代表理事専務理事の選定の件
 - 第2号議案 理事長に事故があるときの順序の件

- (ウ) 決議があったとみなされた日 平成29年7月6日

（監事による異議（定款第38条第2項）なし）

第27回理事会

- (7) 日 時 平成30年2月27日
- (4) 場 所 ホテルグランヴィア大阪
- (ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第1号議案 平成30年度事業計画書の件
- 第2号議案 平成30年度収支予算書の件
- 第3号議案 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みの件
- 第4号議案 公益目的事業にかかる変更認定申請の件
- 第5号議案 特別寄附金受入れの件
- 第6号議案 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の承認の件

② 報告事項

- 報告1 職務執行状況報告の件
- 報告2 クラウドファンディングの実施結果について

第28回理事会（みなし決議）

(ア) 提案者 代表理事理事長 来島達夫

(イ) 提案の内容

議案 西日本旅客鉄道に係る代表理事理事長の利益相反取引の承認の件

(ウ) 決議があったとみなされた日 平成30年3月27日

(監事による異議（定款第38条第2項）なし)

(4) 内閣府へ届出

- ・平成29年6月30日 事業報告等の提出
「平成28年度財産目録」「平成28年度貸借対照表」「平成28年度正味財産増減計算書」等
- ・平成29年8月17日 変更の届出（役員等の変更）
「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等
- ・平成29年8月18日 変更の届出（主たる事務所の変更）
「履歴事項全部証明書」等
- ・平成30年3月30日 事業計画書等の提出
「平成30年度事業計画書」「平成30年度収支予算書」「平成30年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「第27回理事会議事録の写し」
- ・平成30年3月30日 変更認定申請の提出
「変更認定申請書」、「公益目的事業について」、「収支相償の計算」、「公益目的事業比率の算定総括表」、「遊休財産の保有制限の判定」等

3 寄附金の受入れ

個人及び法人より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

- ・一般寄附金 個人5件（うち継続寄附2件） 法人1件
- ・特別寄附金 法人1件
- ・クラウドファンディング 265人（290口）

4 その他

(1) 主たる事務所の移転

事務局における業務拡大に対応するため、事務局の事務所を移転。

(旧)大阪市淀川区西中島7丁目1-26 (新)大阪市淀川区西中島4丁目2-26

(2) 財団ホームページの改訂

SNS開設にあわせてリンクを掲載

(3) 財団事務局のSNSを開設・運営(7月)

財団事務局の活動や所蔵資料を紹介するため、facebook、twitterのアカウントを開設・運営。

(4) 内閣府公益認定等委員会事務局による定期立入検査を受検(11月)

(5) 財団事務局ブログ運営

・更新53回、年度累計23,309PV

(6) 寄附金の懇話活動

・ホームページ及びSNSによる寄附お願いの掲載・発信

・団体、個人へのパンフレットの配布

・クラウドファンディングの実施

期間 平成29年10月23日(月)～12月22日(金)

実績額 4,738,000円

・寄付月間(12月)の賛同パートナーへ登録し、期間中、ブログ、SNS等での周知、パンフレットの送付等の懇話活動を実施。

・一般財団法人日本鉄道車両機械技術協会セミナーにてパンフレットを配布(2月)

III 関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円

項目	物品販売収入	営業料収入	計
金額	5,514,600	32,016,127	37,530,727

[別表1]

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	種 別		平成29年度 (千人)
京都鉄道博物館	個 人	大 人	651.5
		大学生・高校生	27.7
		中学生・小学生	103.3
		幼 児	114.8
		計	897.3
	団 体	大 人	63.2
		大学生・高校生	5.3
		中学生・小学生	30.0
		幼 児	25.3
		計	123.8
	合 計		1021.1

[別表 2]

評 議 員 名 簿

氏 名	現 職
稲見光俊	公益財団法人鉄道総合技術研究所 監事
緒方文人	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長
小田 昇	関西鉄道協会 専務理事
斎藤峻彦	近畿大学名誉教授
坂田正行	公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団 特別参与
松木 茂	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役

理 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏 名	現 職
理 事 長	非常勤	来島達夫	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
専務理事	常勤	三浦英之	公益財団法人交通文化振興財団 専務理事
理 事	非常勤	奥田 仁	日本貨物鉄道株式会社 経営統括本部総務部長
理 事	非常勤	北野 眞	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員広報部長
理 事	非常勤	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会 専務理事
理 事	非常勤	白石敏男	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員総務部長
理 事	非常勤	山村晋一	公益財団法人日本交通公社 理事

監 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏名	現 職
監 事	非常勤	竹山健二	公認会計士
監 事	非常勤	中西 豊	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員人事部長

顧 問 名 簿

氏 名	現 職
竹内哲夫	元 財団法人交通文化振興財団 会長

平成 30 年 3 月 31 日現在 五十音順 (敬称略)

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

平成 30 年 5 月

公益財団法人交通文化振興財団